

本資料は、タペストリー・インクが2022年9月9日(金)午前8時(日本時間:同日午後9時)に発表したプレスリリースの日本語翻訳版です。

<報道関係者各位>

タペストリー・インク 2025年度に向けた成長戦略及び財務目標を発表

持続的で収益性の高い成長と株主への大幅な利益還元を実現するための3カ年ロードマップを公表

- 2025年度までに、3カ年の年平均成長率(CAGR)6%から7%を反映して80億ドルの収益を達成する見込み
- 2025年度には希薄化後1株当たり利益5ドル以上を達成し、3カ年の年平均成長率を10%台前半から半ばに加速する予定
- 強力なフリーキャッシュフローを背景に、自社株買いと配当を通じて2025年度までに累計30億ドルの資本を株主に還元する計画

ニューヨーク 2022年9月9日 – ニューヨークに本拠地を置き、アイコニックなアクセサリーとライフスタイルのブランド、コーチ、ケイト・スペード、スチュアート・ワイツマンを展開するグローバル企業タペストリー・インク(NYSE:TPR)は、本日、ニューヨークの本社で2022年度インベスター・デイを開催します。これに合わせて、アクセラレーション・プログラムの成功に基づく、2025年度に向けた成長戦略と財務目標を発表します。

タペストリー・インク最高経営責任者のジョアン・クレヴォイセラは次のように述べています。

「この2年間、お客様へのフォーカスの先鋭化とブランド構築に取り組むことで会社の抜本的変革を行い、目覚ましい成果を上げてきました。この強固な基盤によって大きく飛躍する道が開け、私たちのアイコニックなブランドすべてで継続的な成長を遂げる態勢が整いました。環境は刻々と変化していますが、私たちはお客様のスピードに合わせ、アジリティと意図を持って前進する準備ができています。重要なことは、今後数年間にわたってすべてのステークホルダーに有意義な価値を提供するために、私たちには持続可能な増収増益を促進し、大きなキャッシュフローを生み出す能力があると確信していることです」

2025年度に向けた成長戦略

インベスター・デイでは、タペストリー・インクのシニアリーダーシップチームが以下の4つの戦略的優先事項に焦点を当てながら、ブランドの競争優位性を強化・拡大するために策定した2025年度に向けた成長戦略の概要を詳しく説明します。

- **お客様との持続的関係を構築**:各ブランドは会社の変革されたビジネスモデルを活用し、さらなる顧客の獲得・維持・再活性化を組み合わせ、顧客生涯価値を向上させます。
- **ファッションの革新性と製品の卓越性の推進**:主力製品であるハンドバッグと革小物の持続的な成長を図りながら、フットウェアとライフスタイル製品の売上を拡大します。
- **魅力的なオムニチャンネル体験の提供**:オムニチャンネルの牽引力を強化し、顧客の買物場所にかかわらず対応することで、オンラインと店舗の両方で成長を遂げます。
- **グローバルな成長を促進**:最大のマーケットである北米と中国に重点を置き、東南アジアやヨーロッパなど未開拓の地域での可能性を活かしながら、地域間でバランスのとれた成長を支えます。

長期的な財務目標

タペストリー・インク最高財務責任者兼最高執行責任者のスコット・ロウは次のように述べています。

「当社は魅力的で持続性のあるカテゴリーで強力なブランドを持ち、実績と収益性に優れたビジネスモデルを展開しています。引き続き収益・営業利益率・利益の拡大についてバランスのとれたアプローチを続けていきます。同時に規律ある資本配分を継続し、強力なフリーキャッシュフローを活かして、2025年度までに30億ドルを株主に還元する計画です。これにより、計画期間中に大幅な株主還元が実現できると考えています」

タペストリー・インクは2025年度の財務目標について以下のように説明しています。

- **収益**は80億ドル、3カ年の年平均成長率は6%~7%。
 - **コーチ**の3カ年の年平均成長率は1桁台半ばで推移し、収益は57億ドル、営業利益率は30%を維持します。
 - **ケイト・スペード**の3カ年の年平均成長率は1桁台後半で推移し、収益は19億ドル、営業利益率は10%台半ばに拡大。当該ブランドは、収益20億ドル、営業利益率10%台後半の達成に向けて順調に推移しています。
 - **スチュアート・ワイツマン**の3カ年の年平均成長率は2桁台前半で推移し、収益は4億5,000万ドルに増加、営業利益率は1桁台後半に拡大します。
- **営業利益率**は19%台、2022年度比で約100ベースポイントの増加。
- **希薄化後1株当たり利益**は5ドル超、3カ年の年平均成長率は10%台前半から半ば。
- 2025年度までに**累積30億ドルを株主に還元**、目標とする配当性向は35%~40%で年間7億ドル以上の自社株買い。

これらの目標は、8月中旬の2022年度第4四半期業績報告で発表した2023年度の業績見通しを反映したものです。前回発表のとおり、この見通しは以下を前提としています。

- 米ドル高は進まないこと。予測時点でのスポットレートに基づく情報による。

- 中国全体の新型コロナウイルス感染症に伴う混乱からの段階的回復が継続し、パンデミックによる大規模なロックダウンやサプライチェーンへのさらなる圧力がないこと。
- インフレ圧力や消費心理が大幅に悪化しないこと。
- 一般特惠関税制度 (GSP) 復活の可能性による恩恵を受けないこと。

これら及びその他の外的要因の動的な性質を鑑みると、業績が今回の見通しから大きく異なる可能性があります。

インベスター・デイのイベント詳細

ライブイベントの様子は本日午前 8 時 30 分(米国東部標準時)より、インベスター・デイの[マイクロサイト](#)のウェブキャストでご覧いただけます。また、プレゼンテーションのスライド及び録画はインベスター・デイの終了後、当社のウェブサイト(www.tapestry.com/investors)でご覧いただけます。

タペストリー・インクについて

タペストリー・インクは、コーチ、ケイト・スペード ニューヨーク、スチュアート・ワイツマンのそれぞれが持つ魅力を集結させたグローバルなマルチブランド企業です。各ブランドが唯一無二の個性をもつ存在でありながら、独自性のある商品と、チャネルや国・地域を超えたブランドならではのカスタマーエクスペリエンスによって定義される革新性と本物志向のコミットメントを共有しています。タペストリー・インクは総合力を発揮して、お客様に感動を与え、コミュニティーに力を与え、ファッション業界をより持続可能なものにするとともに、公平で、インクルージョンとダイバーシティに富んだ企業へと進化していきます。個々の象徴的ブランドがひとつになることで、無限の可能性を追求できるのです。タペストリー・インクの詳細については <http://www.tapestry.com> (英語のみ)をご覧ください。タペストリー・インクに関する重要なニュースと情報については、Investor Relations のセクション www.tapestry.com/investors をご覧ください。さらに、投資家の皆様はタペストリー・インクのニュースリリース及び証券取引委員会への報告を引き続きご確認ください。タペストリー・インクは投資家の皆様への主要な情報の配信網としてこれらを活用しており、一部には重要情報や未公開情報が含まれている場合があります。タペストリー・インクの普通株式はニューヨーク証券取引所でティッカーシンボル TPR で取引されています。

当プレスリリースには将来の見通しが含まれていますが、実際の結果は事業に及ぼす様々なリスクや不確定な事由により現在の見通しと異なる可能性があります。タペストリー・インクは、法律で求められる場合を除き、いかなる理由でも当資料に含まれる将来の見通しに関する記述内容を修正または更新する義務を一切負いません。

###